



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
FAX 043(224)7197 番

2001.3.30 No. 5289

3・28第一波ストを貫徹！ 総決起集会に300名結集！



第二の分割・民営化攻撃との闘い この本格的な出発点の闘い！

三・二八、二〇〇〇一年春闘第一波ストライキには、旅客・貨物の地上勤務者八九名が敢然とストライキに決起し、貨物ベア・ゼロ回答打破、シニア外注化を中心とした、「ニューフロンティア二一」第二の分割・民営化攻撃と対決していく、闘いの開始を担い抜いた。第一波ストは、当日、一四時から千葉市民会館に続々とスト決起者そして組合員が結集、開催された第一波スト総決起集会には、三〇〇名の組合員が会場を埋めつくした。



総決起集会では、冒頭あいさつに起った、中野委員長が、「戦後の政治のあり方など、情勢が動いている。動労千葉のスト闘争は、労働者が元気になって、閉塞状況を打破していく闘いだ。二一世紀の冒頭の闘いであり、労働者の時代にしていくのか、反動の世の中になつていくのか、歴史的な試練のときだと考えている。闘争の焦点は貨物のベア・ゼロ回答を許さない闘いだ。旅客の労働者は、分・民の矛盾とともに賃金差別を闘い、貨物の



労働者は、差別・選別攻撃を受け続けている旅客の仲間の問題を自分ごととして、問題を共に闘っていくことだ。今春闘の大きな闘いの目標は、東日本におけるメンテナンクス部門の全面的な外注化との対決だ。そしてこの闘いには、シニア制度をめぐるJR東日本の悪辣な姿勢に対する抗議の闘いだ。外注化は無視できないし、座視できない問題だ。この外注化攻撃は、終身雇用制度の解体につながるものだ。また、列車の安全にも甚大な影響を及ぼす。実際にも、貨物列車の脱線事故など外注化の影響がすでにでている。この外注化攻撃が導入されれば、不安な状況の中で、運転士は六〇歳まで働くこととなり、たとえ身体が悪くなつても、検修区は外注化によりおられないなどの問題もはらんでいる。このように外注化は、鉄道会社のあり



4/1~2 第二波 ストに起とう！

